



三河線廃線区間

16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 猿投駅 料金160円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 猿投 小	16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 三河御船駅 料金160円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 御船 小	16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 枝下駅 料金160円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 枝下 小
16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 三河広瀬駅 料金160円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 広瀬 小	16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 西中金駅 料金160円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 西中金 小	16.-3.31. (名古屋鉄道) 入場券 西中金駅 <small>小</small> 料金 80円 当日1回限り有効 この券で乗車することは できません 入 西中金 小



No. 1

西中金-----1

力石・広瀬トンネル界隈-----10

三河広瀬-----18

城址下-----36

No. 2

矢作川-----38

枝下-----48

御船川橋梁-----58

三河御船-----60

猿投-----70





駅舎と桜と孟宗竹…平成 17 年 4 月 9 日

西中金

西中金は昭和 38 年 4 月 1 日、貨物営業を廃止したが、廃止の直前まで、貨物輸送の積荷は「孟宗竹」だったと記憶している。駅前にも竹が生い茂っていたが、平成 23 年秋伐採された。

田植え今年はちょっと遅い?…平成 24 年 5 月 19 日





中腹から旧駅舎一帯を眺める…平成 24 年 4 月 28 日

目に染みる緑です…平成 23 年 5 月 8 日





足助方に向かって…平成 19 年 6 月 11 日

左及び下…行止り線



駅舎方に向かって…平成 23 年 6 月 2 日

平成 23 年 6 月 2 日



上 2 枚…向日葵と鶏頭…平成 21 年 8 月 11 日



生命力・木柱の切断箇所から新たな息吹が…平成 23 年 7 月 11 日
 黄ばんできたが生命を維持しています
 …平成 24 年 7 月 30 日



瀕死の状態?…平成 24 年 8 月 12 日

生命力の逞しさを知る



枯れずに見事甦る…平成 25 年 5 月 25 日



霞か雲か・それとも霧か(徐々に 153 号線辺りが濃くなって)…平成 22 年 11 月 18 日

岩倉神社から駅舎に戻り振り返れば境内に雲?…平成 22 年 11 月 18 日





黄金色に輝く銀杏^{いちょう}…平成 23 年 11 月 17 日



平成 17 年 12 月 19 日

新聞報道によると名古屋では 58 年振りの大雪とか・西中金のホーム上でも 13 cm。

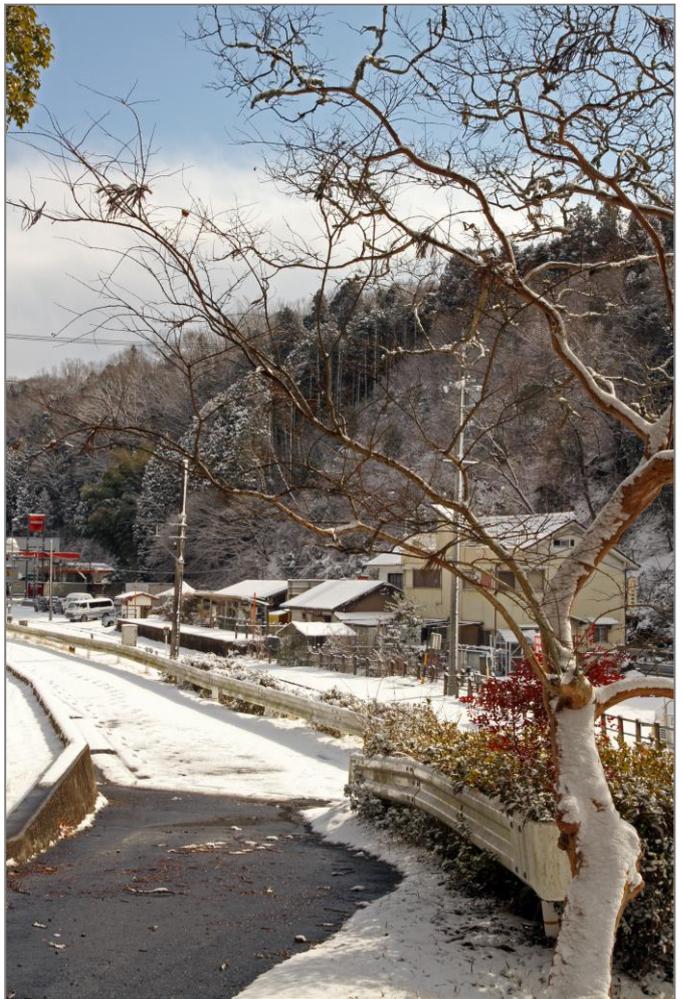
平成 17 年 12 月 19 日





平成 20 年 2 月 10 日

岩倉神社前から西中金駅跡を望む
平成 24 年 2 月 2 日



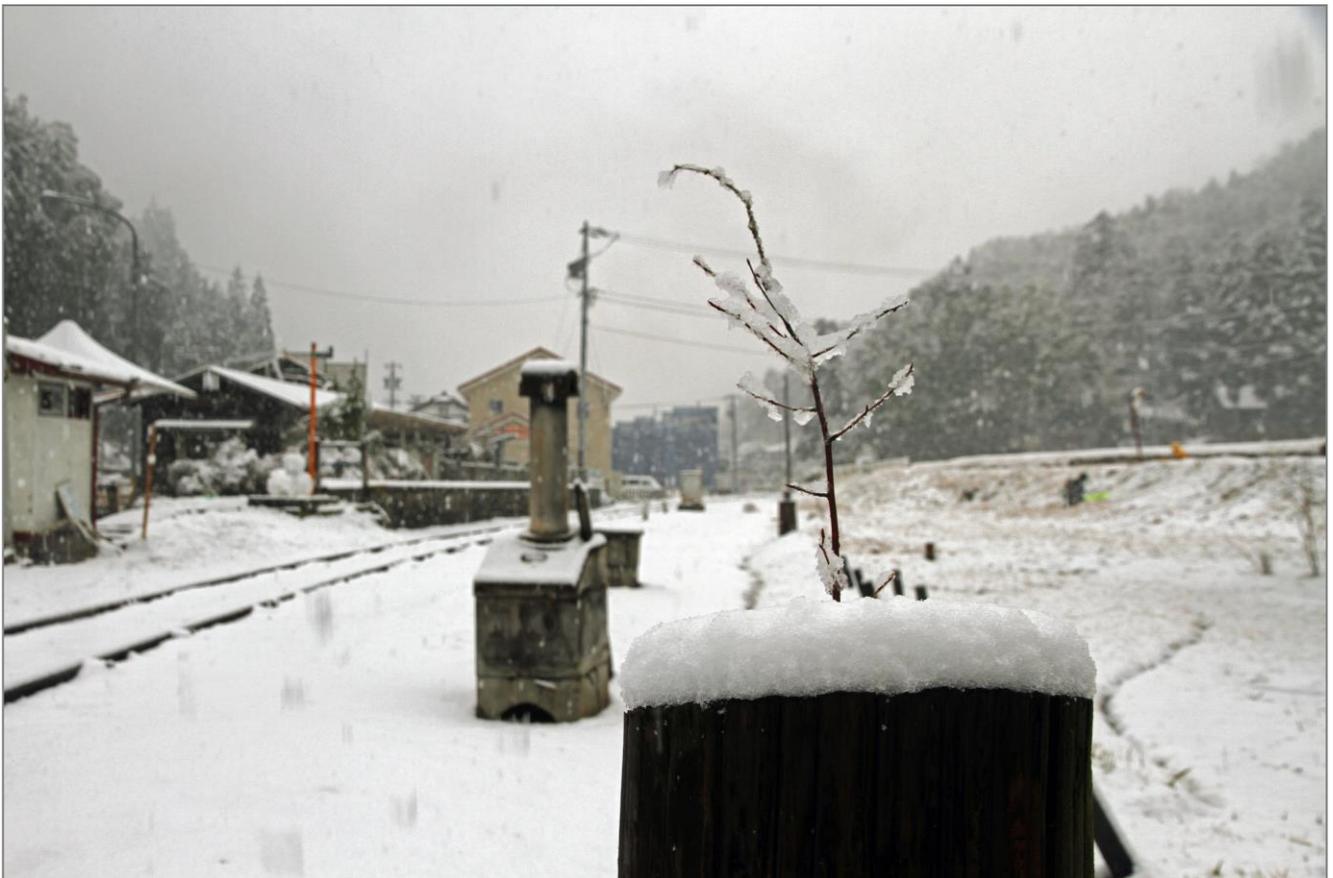
白銀のジュータン…平成 24 年 2 月 2 日





冬の風物詩・雪だるま…平成 26 年 2 月 8 日

生命の宿る木も凍てつく雪に耐えて…平成 26 年 2 月 8 日



カ石・広瀬 トンネル 界限

カ石トンネルは40m、広瀬トンネルは241m。
広瀬トンネルは、冬季になると知立方の入口上に氷柱ができる。1.5m以上になると電車の屋根に当たり折損、また、伸びたら折損を繰り返していたが、LE-carになってから氷柱の話聞いたことがない。

廃線後、三度ばかり現地確認したがトンネルの上に水滴すらなかった。これも地球温暖化の影響かも知れない。

東広瀬城を築いた児島高德侯の遺品が広瀬トンネル入口左側の廣齊寺にある。訪れてからもう半世紀以上も経ちました。



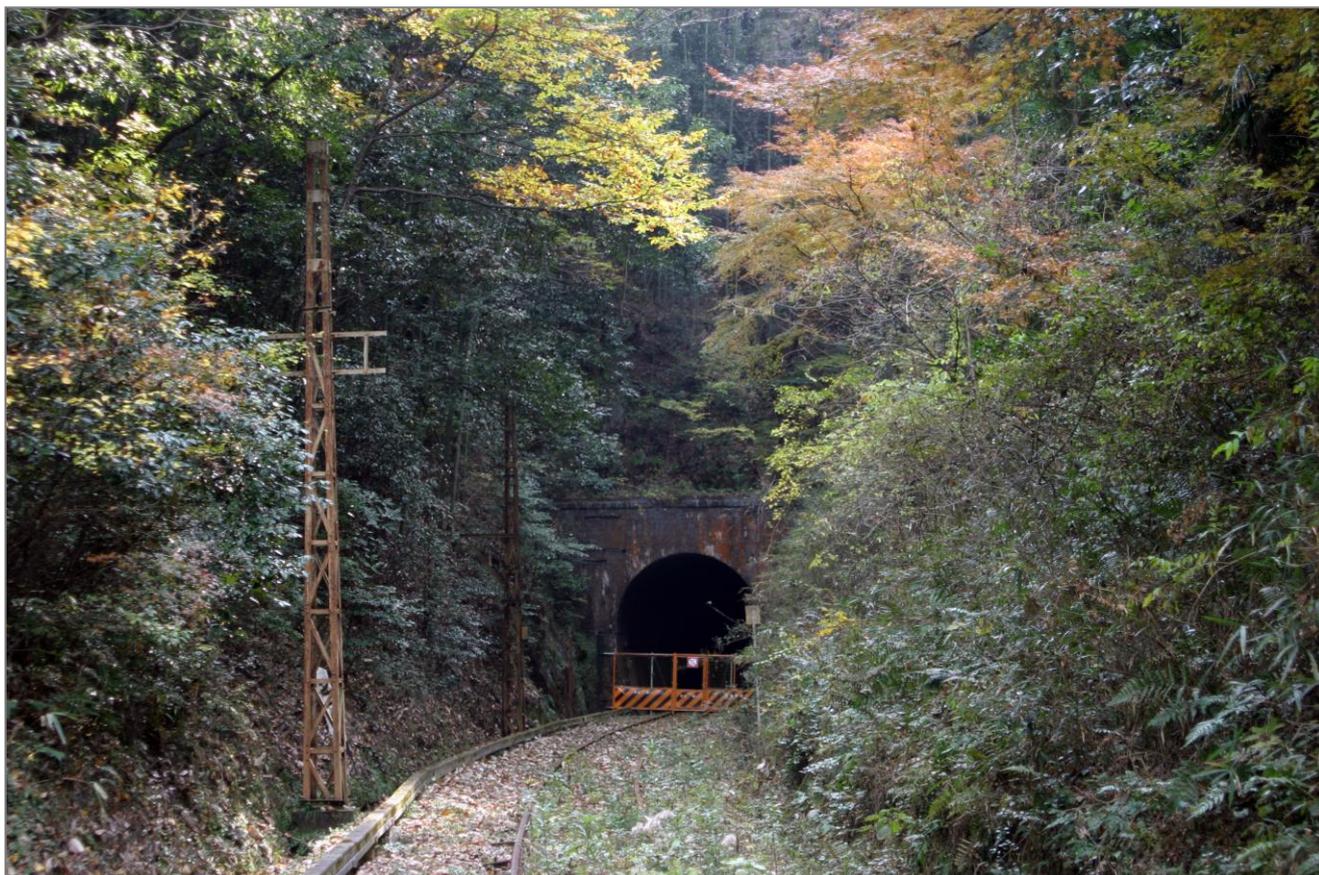
平成21年3月30日

上…カ石トンネル 下…広瀬トンネル

平成21年3月30日



広瀬トンネル…平成17年11月30日





染井吉野(手前)と四季桜(奥) の競演…平成 23 年 4 月 3 日

どこまで伸びる蔦…平成 24 年 8 月 12 日





緑深し…平成 21 年 7 月 20 日



稲刈り…平成 21 年 9 月 5 日



背高泡立ち草…平成 18 年 10 月 21 日





ススキ…平成 18 年 11 月 28 日

熟れた柿…平成 17 年 12 月 1 日





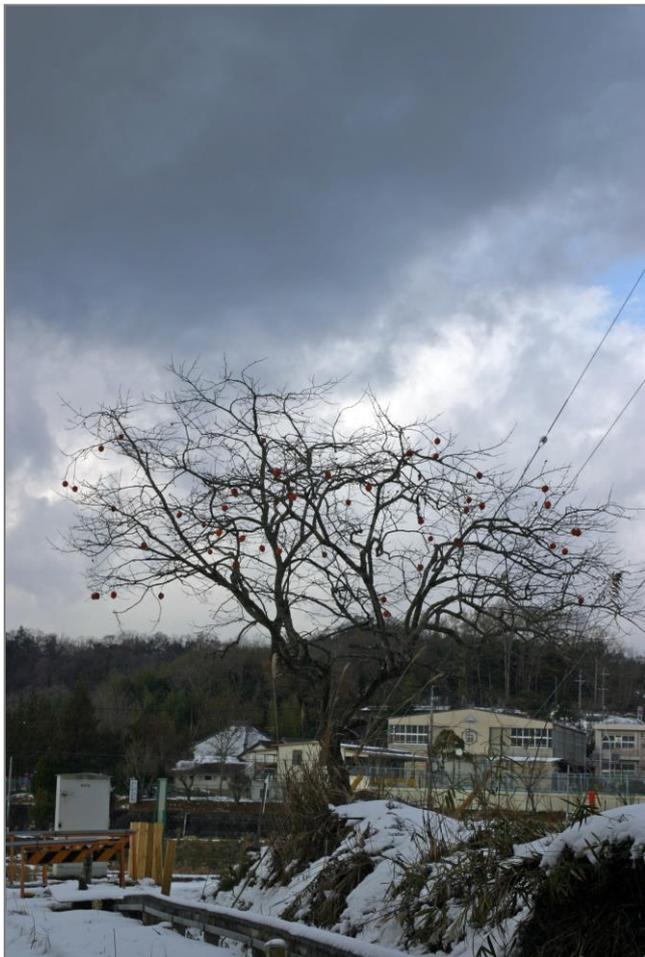
美味そうな柿・でも渋柿?…平成 20 年 11 月 26 日



広瀬トンネルの知立方に熟れた柿が、多分渋柿？だと思ふ…平成 20 年 11 月 26 日

平成 23 年 12 月 4 日





冬の広瀬トンネルは時間が止まったような
空間で…平成 21 年 2 月 8 日



今にも L E-car が走って来そう…平成 17 年 12 月 19 日





カ石トンネル～広瀬トンネル間…平成 24 年 2 月 2 日

三河広瀬

山線廃線区間で唯一の4両ホーム駅。裏を返せば一番乗降が多かった証しである。

ホームをよく見ると開業ホームは延長40m、幅2.6m、高さ60cm規模の東西に石造構造物をコンクリートで嵩上げしたものです。

昭和30年前半、猿投方に20mの栈橋ホームを30年代後半に西中金方に20m延伸され4両化となる。

また、今日まで知らなかったが、広瀬には西広瀬城と東広瀬城が…。今まで広瀬城と書いていた城は東広瀬城だった。



上…高さ60cmの石造の上にコンクリートで嵩上げ
下…3両ホームに延伸(レールの栈橋ホーム)



下…左側(西中金方)4両ホームに延伸(開業時ホームの法面がくっきりと)





廃線 2 年後の桜…平成 18 年 4 月 6 日

桜の太い幹に焦点を合わせて…平成 20 年 4 月 2 日





平成 21 年 4 月 6 日



新緑…平成 22 年 4 月 21 日



若葉から青葉へ…平成 19 年 6 月 11 日



子ども会のマレットゴルフ大会
…平成21年6月13日



真夏の陽を浴びて…平成25年7月19日



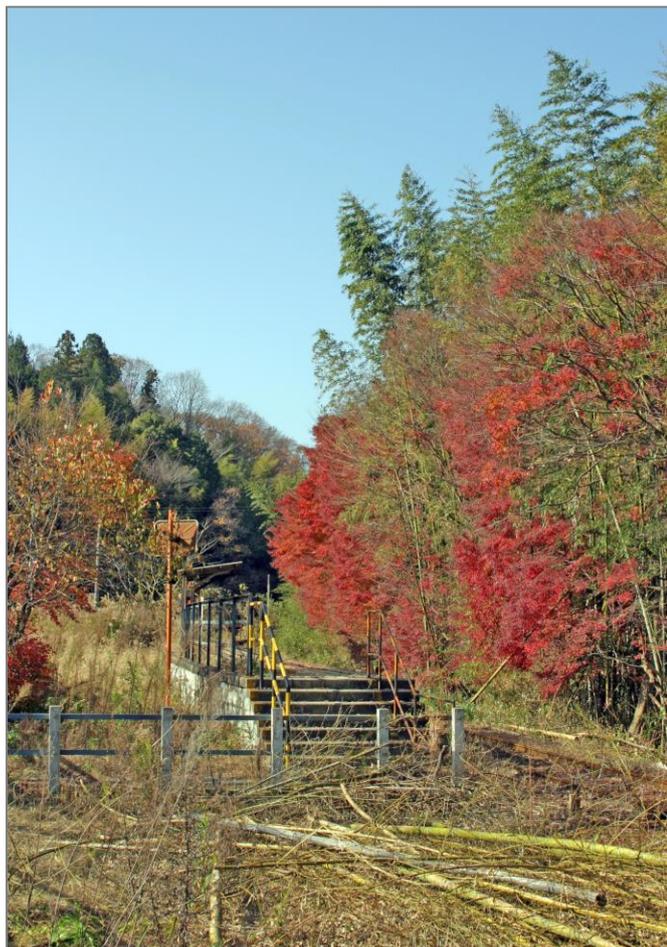
木々の色も緑濃く…平成25年7月19日撮影



暑い夏が過ぎて…平成 20 年 9 月 17 日



矢作川の法面に咲く彼岸花…平成 23 年 9 月 27 日



孟宗竹伐採…平成 16 年 12 月 4 日



平成 18 年 11 月 28 日

平成 17 年 12 月 1 日





日増しに紅葉も色付き…平成 21 年 11 月 18 日



川辺の楓…平成 20 年 11 月 26 日



平成 20 年 11 月 26 日



平成 22 年 11 月 26 日





四季桜の花も散り出し 葉は山吹色いや杏色に染めて…平成 23 年 12 月 4 日

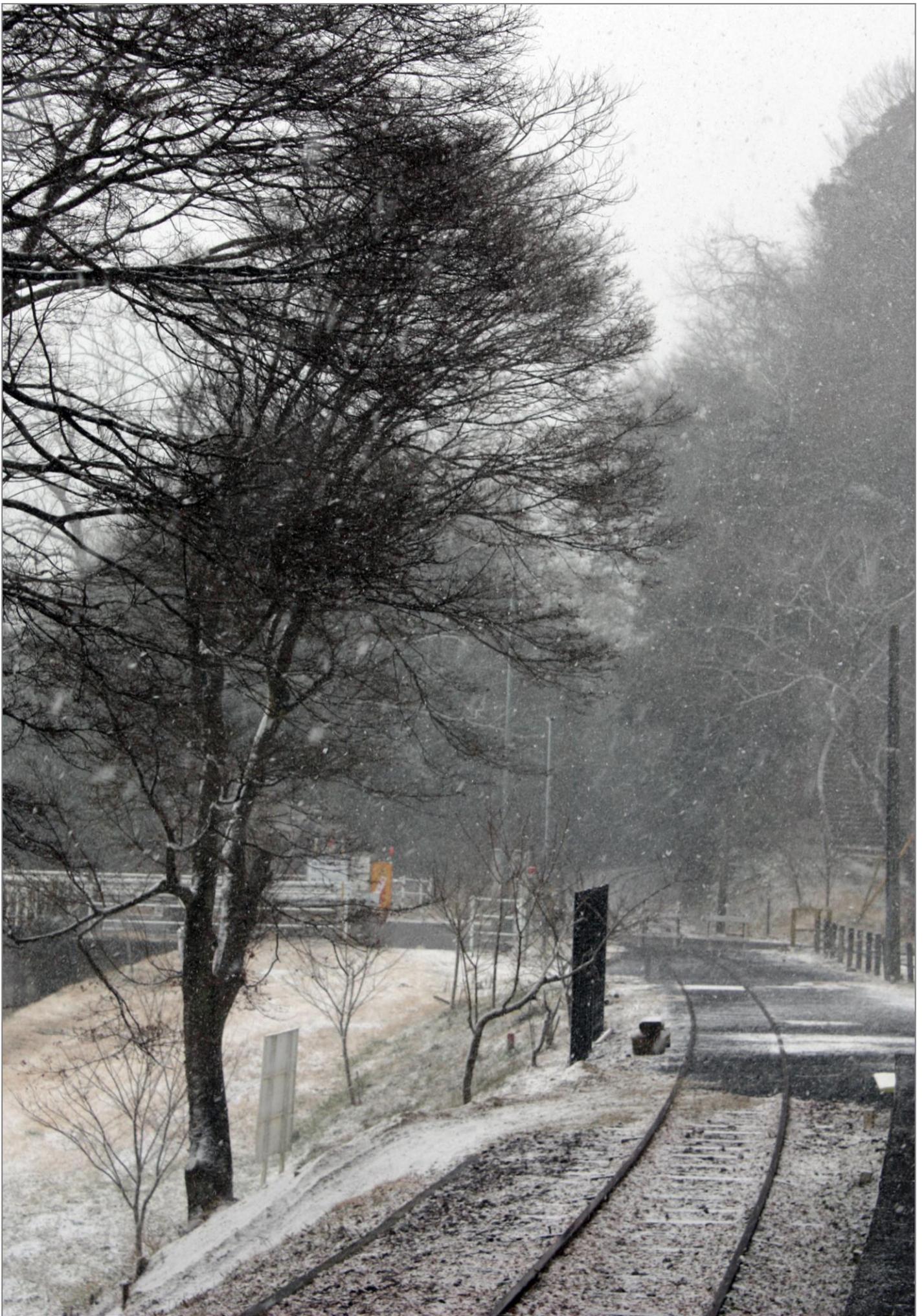
黄葉& 紅葉の競演…平成 24 年 11 月 18 日





平成 17 年 12 月 19 日





横殴りの雪が舞い上がる…平成 23 年 1 月 16 日



平成 23 年 1 月 17 日



平成 24 年 2 月 2 日

平成 24 年 2 月 2 日





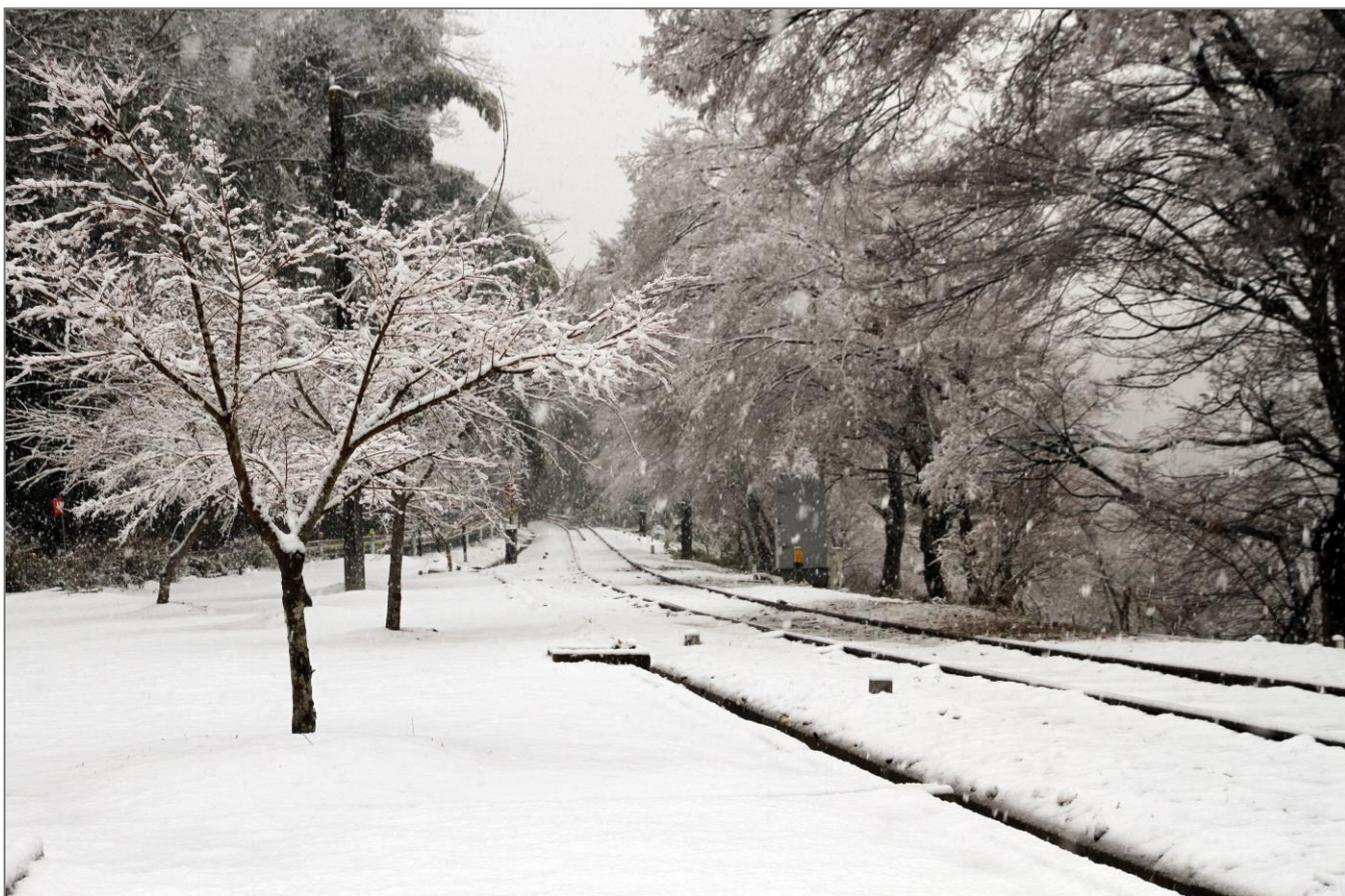
足跡一つない…平成 23 年 1 月 17 日

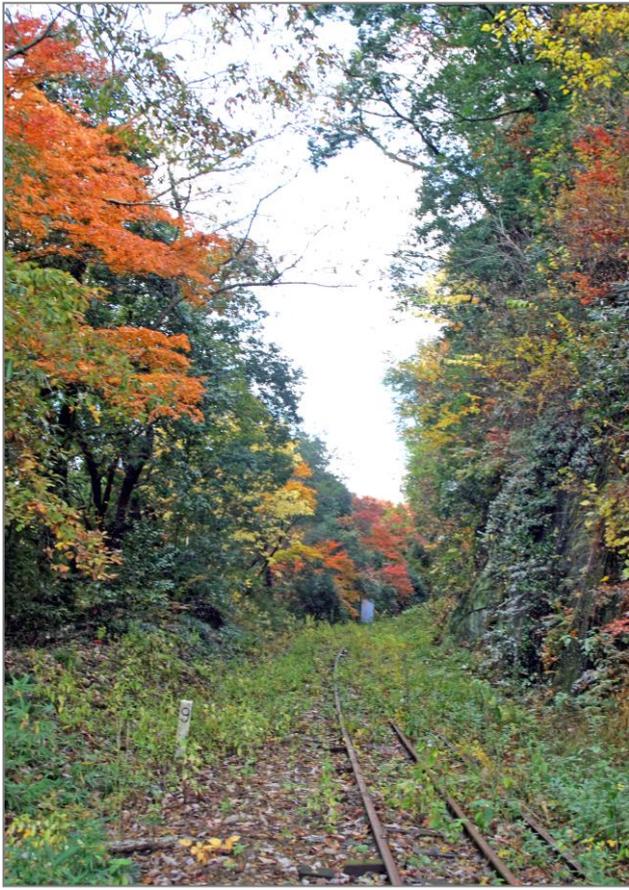


平成 26 年 2 月 8 日

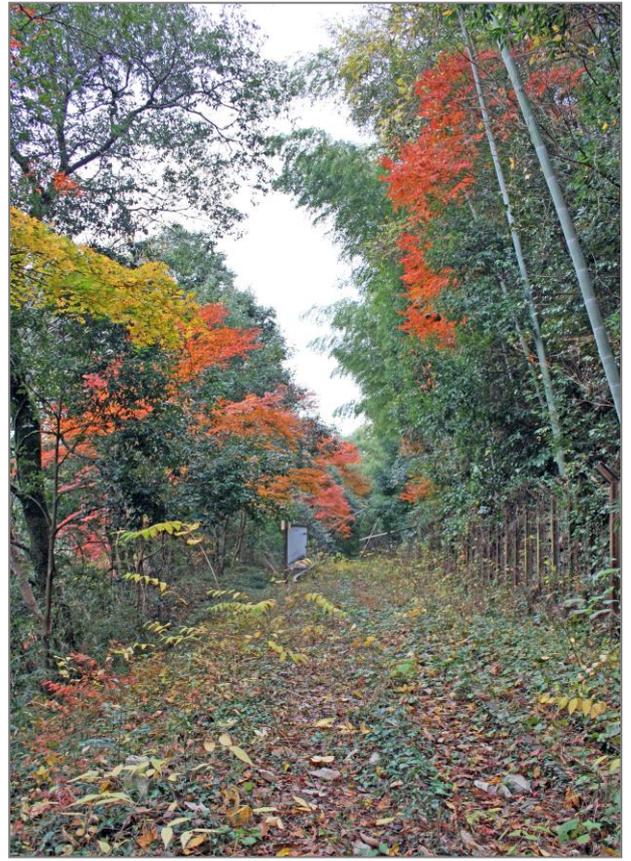


樹氷見たい? …平成 26 年 2 月 8 日





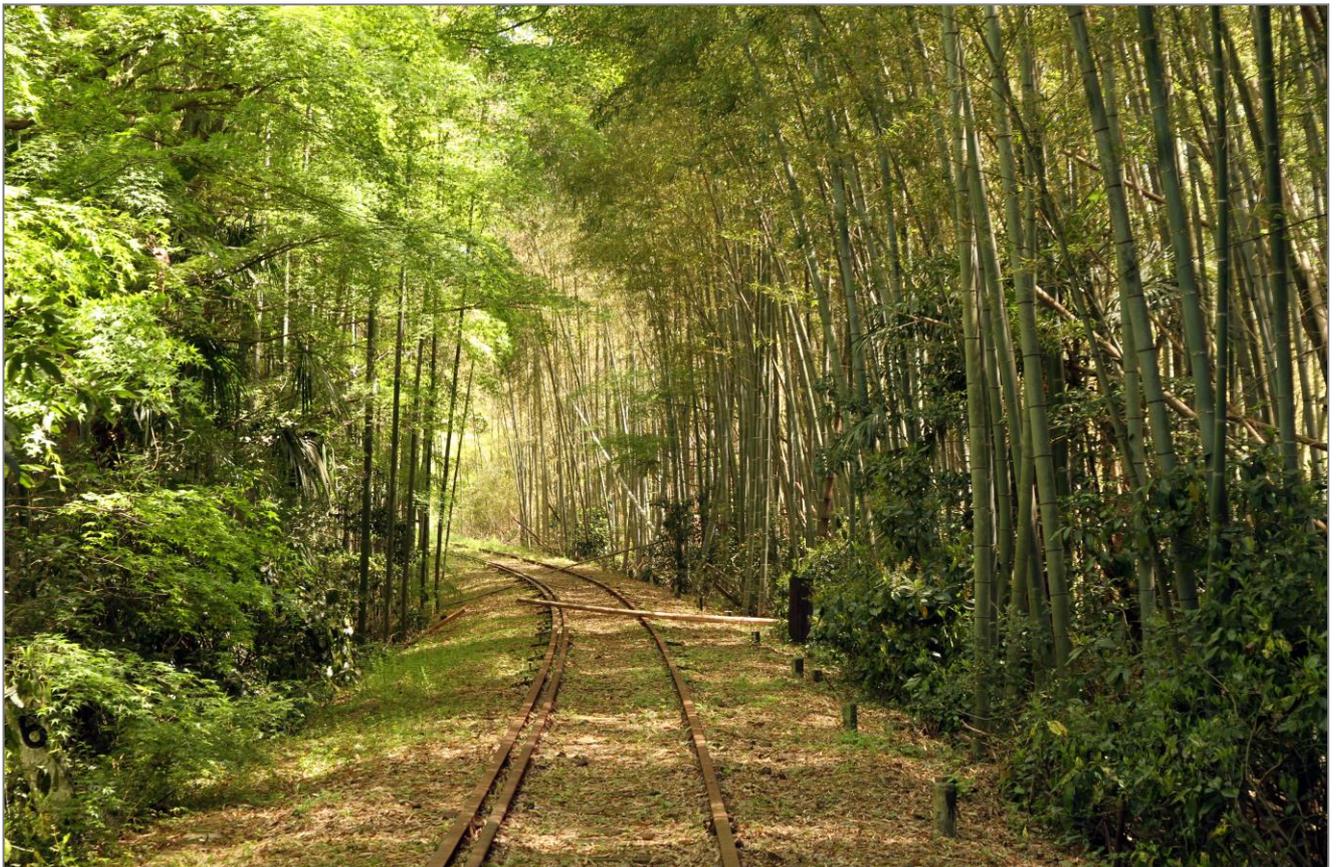
平成 18 年 11 月 28 日



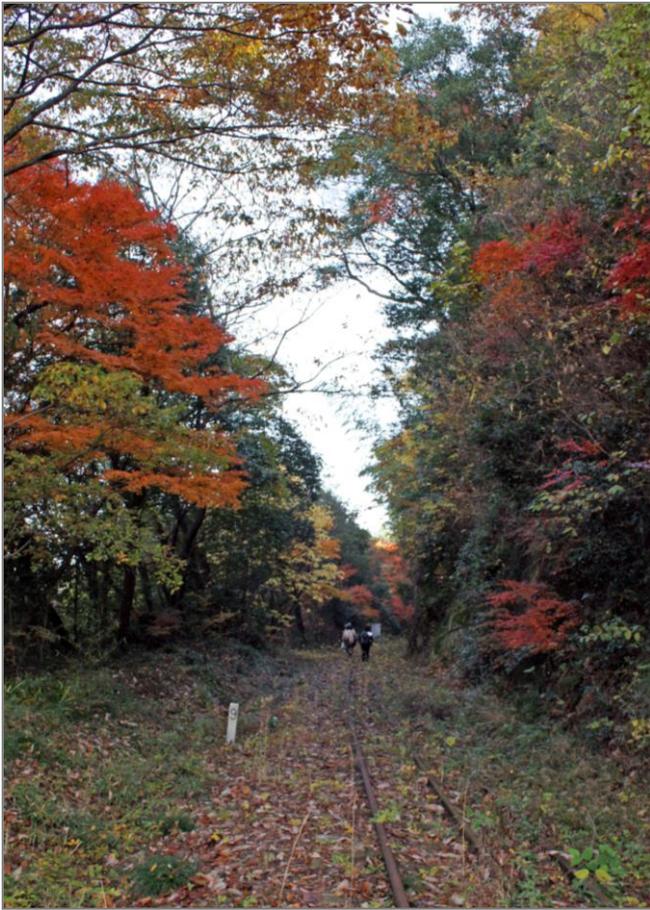
紅葉&黄葉…平成 21 年 11 月 17 日

城址下

この写真集を作るまで、広瀬城下だと思っていたが、インターネットで再確認したところ、広瀬には西広瀬城址と東広瀬城址が…。駅東の城址は東広瀬城であった。この城は児島高德が築城したことは間違いなかった。



平成 24 年 4 月 28 日



平成 23 年 12 月 4 日



元気な 3 人組・前へ前へと進む…平成 21 年 11 月 28 日

矢作川(三河広瀬下)・鮎釣りで賑わう…平成 20 年 9 月 17 日



